

### イノシシの習性

イノシシは昼間は窪地に巣を作って寝て過ごすことが多く、主に夕方から夜にかけて活動する。

### ヌタ場(泥浴び)

体についたダニやノミを落とすために泥浴びをする。



体についたダニやノミを落とすために、窪地で掘り込んで全身を泥でまみれにする。

泥浴びをした後は、木の根元に体をこすりつけて泥を落とすしながら自分のまをぬく。

### イノシシの“ヌタうち”のようす



### イノシシの食事

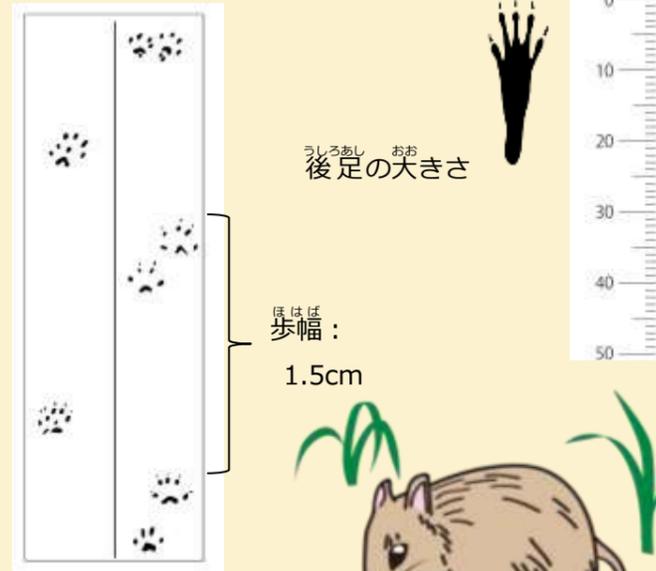
イノシシは、雑食性で、植物や色々な生き物を食べる。



イノシシのラッセル痕

鼻で地面を掘り進んで植物の根や茎、昆虫やミミズなどを食べる。

### アカネズミの足痕



【足痕の特徴】

ノネズミも、ノウサギと同じよう

にジャンプしながら前進する。

(「ウサギの足痕の特徴」参照)

## さぬきの森

## 動物の足跡

## 観察

## ハンドブック

国営讃岐まんのう公園  
さぬきの森の会

### ムササビの一日

・ムササビは木の洞に巣をつくって暮らす。  
・夜行性で、昼間は木の洞の中で寝て過ごし、夜になると巣から飛び出て活動する



### ムササビの食事

・ムササビは、リスやネズミの仲間で、植物だけを食べる。  
・四季を通して、柔らかい新芽や葉っぱ、若い枝や木の皮、花や木の実などを食べる。  
・冬眠はしない!



### まんのう公園のムササビ



### ムササビの食痕

葉っぱの食痕 (固い葉)



葉を二つ折りにして食べるため、左右対称の歯形が残る。

葉っぱの食痕 (柔らかい葉)



柔らかい葉は、四つ折りにして食べるため、真ん中に穴があいた歯形が残る。

### 松ぼっくりの食痕

松ぼっくりの食痕は、リスに似ているが、ムササビは松かさの下の部分が食べ残されている。

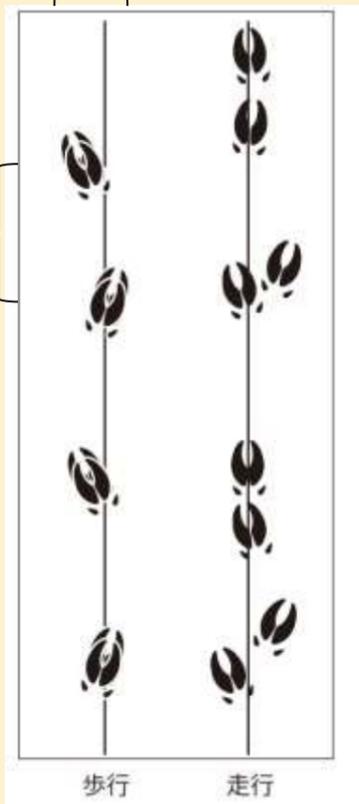


## さぬきの森に暮らす動物たち



あしあと幅  
足跡幅：  
10~20cm

ほはば  
歩幅：  
30~40cm

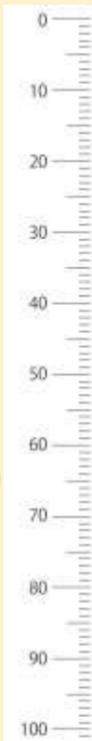
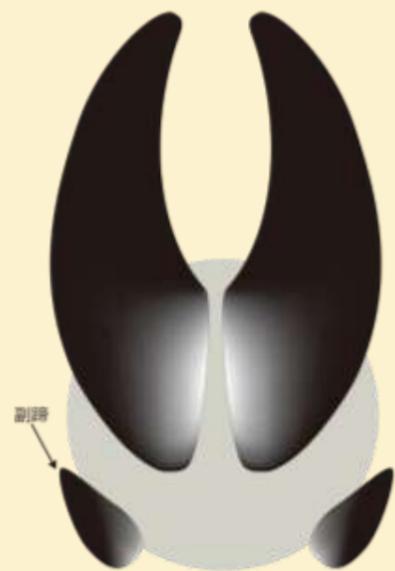


### あしあと イノシシの足痕

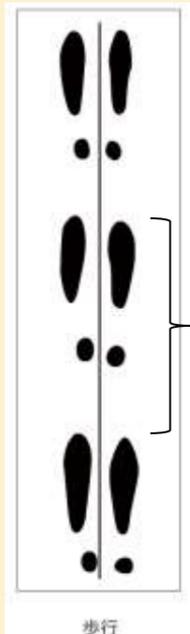


#### あしあと 特徴

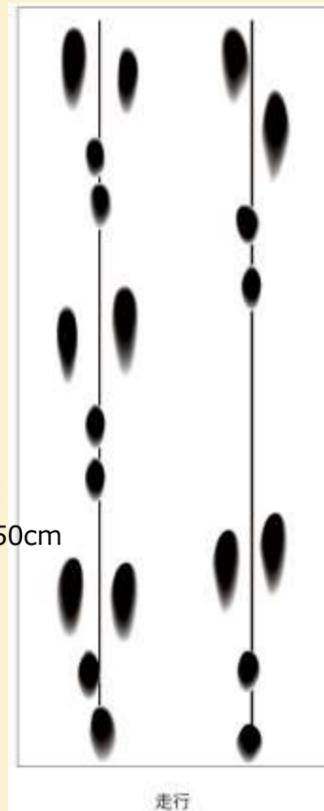
まえあしでできた足痕の上に、後足をほぼ正確に乗せて歩いているため、足痕幅が細く、単純な足痕になる。



### あしあと ノウサギの足痕



ほはば  
歩幅：  
30~50cm



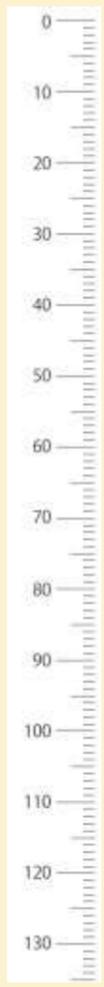
まえあし  
前足

しろあし  
後足

ちようやくまより  
跳躍距離：  
1~1.5m

#### あしあと 特徴

両方の前足を地面につくと、前足をまたぐように両方の後足を前にもってくるため、2つの大きな足痕と、2つの小さな足痕が対になった足痕となる。  
このようなパターンは、ノウサギ、リス、ネズミの仲間の特徴である



あしあと幅  
足跡幅：3~3.5cm

ほはば  
歩幅：25cm



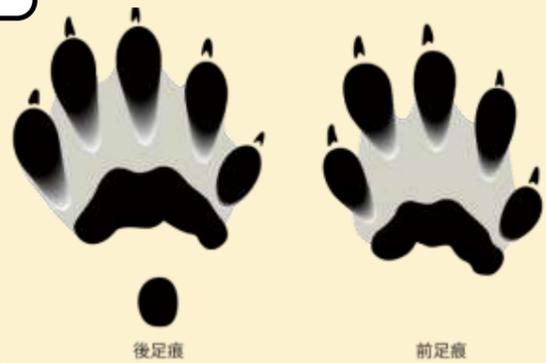
ちようやくまより  
跳躍距離：  
50~70cm

### あしあと テンの足痕



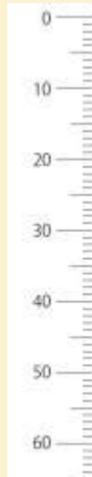
#### あしあと 特徴

テンやイタチは、歩いたり走ったりジャンプをしたり、色々な歩き方をするので、歩幅や跳躍距離に変化が多く、不規則で複雑な足痕になる。



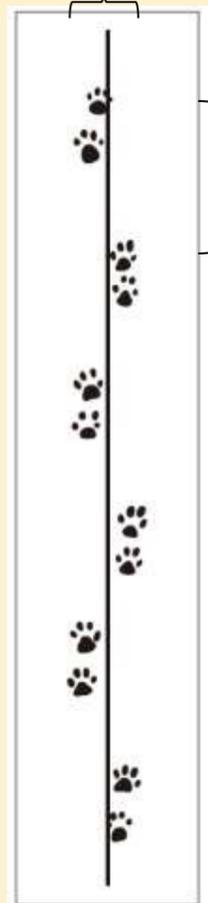
後足痕

前足痕



あしあと幅  
足跡幅：3~3.5cm

ほはば  
歩幅：  
20~30cm

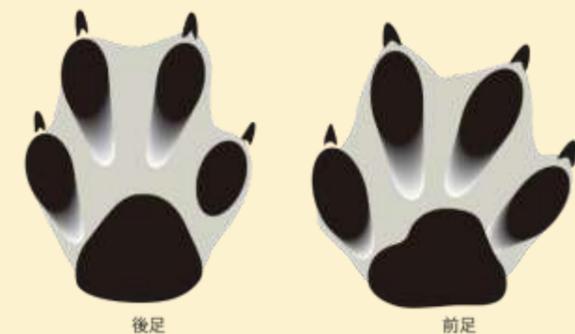


### あしあと タヌキの足痕



#### あしあと 特徴

足痕幅が細く、規則的で単純なパターンは、イノシシやタヌキの足痕の特徴である。



後足

前足

